



安行小だより

安行小学校 5月号

令和4年5月2日

目指す学校像

よさを認め、学び合い高め合い、やる気と笑顔あふれる学校



いつの時代も

校長 春川 嘉孝

正門を入ると「アキニレ」そして、その右手には「クスノキ」が立っています。また、校庭の反対側には「ケヤキ」。どの木も、いつの間にか緑の葉を蓄え、さわやかな五月の安行小を彩っています。100周年の記念誌に目を通すと、当時子供だった方の作文の中に「クスノキ」が登場します。そう考えると、校庭の木々は、学校と同じように年齢を重ねてきたのでしょうか。これまで、どれくらいの卒業生がこの「クスノキ」や「アキニレ」「ケヤキ」の下で過ごしてきたのか。安行小に通う子供たちが元気に遊ぶ、しっかり学ぶ姿を見てきたのかと思います。時には暑い日差しをやわらげ、葉のじゅうたんで遊ばせてくれた。いつの時代も、変わらずじっと見守ってくれているようです。木々がいつの間にか、緑濃く葉をつけたように、子供たちも少しずつ、よく変わってきています。

さて、進学・進級から1か月がたちました。4月は、お子さんにとって新しい環境になれること、生活のリズムをつくることなど気を張った日々でもありました。3日から始まる大型連休では、十分体を休めながら、少しずつ暑さになれるための生活にご協力ください。また、学校生活での不安や悩みなどから、気分がすぐれない日々もあるかと思います。その時は、保護者の皆さまには十分お子さんの話を聞いていただき、また、学校でも丁寧に対応してまいります。

5月の朝会で子供たちに向けて、下記のように話をいたしました。

(途中省略)私から2つお願いをします。

1つめは、あいさつをしっかりすることです。

「おはようございます」これは、私たちが、その日の一番最初に聞く皆さんの声です。この声を聞くと「今日も元気だなあ」とか「何か心配ごとがあるのかなあ」などがわかります。お辞儀をしながらあいさつしてくれる子が多くなって、とてもうれしく思っています。でも、もうちょっと頑張れそうです。先生たちにも、横断歩道などで見守ってくださっている人、みんなのお家の近くに住んでいる人にも、もちろんお家の人にも、しっかり、はっきり あいさつできる子になってください。

2つめ、5月は、あたらしい学年、クラスでの生活から1か月たち、また、初めには、ゴールデンウィークというたくさんの休みの日があります。そうすると、今まで頑張っていた気持ちや体力が、一気につかれてきてしまう、そんな1か月です。「こんなはずじゃなかった」「なかなか新しいクラスや生活になれないなあ」など、少しでも心配なことがあったら、担任の先生でも、私にでも、学校にいるどの先生でもよいので相談してしてください。みんなで、支えていきます。では、5月も交通事故にあわない、元気に過ごしていこうと考えながら、自分の命も友達の命も大切に過ごしていきましょう。

気持ちをリラックスさせながら、健康に生活できるよう学校・家庭が連携してまいりたいと存じます。よろしく願いいたします。

朝、正門付近で子供たちを迎えると、兄弟姉妹の温かいかわりを目にします。入学したばかりの弟妹を心配してか、正門付近まで近づくと「がんばれ」「ちゃんとやるんだよ」と声をかける兄姉(中学生です)の姿があります。その声に、少し照れながらも「うん」と返事をして門をくぐって行く姿を見ます。いつの時も、家族のつながりは大切に、温かいなあと感じます。